

こどものまなざし



2022年7月
<1号>

1. 0歳児、赤ちゃんから年長さんまでの相談

“なんだか目が気になって・・・”

“ずいぶん目を近付けて見るようだけれど、うちの子、目が悪いのかしら？”

“どうして気付かないんだろう。もしかして、あんまり見えてないのかも・・・？”

こんな言葉が頭をよぎったことはありませんか？初めての子どもだし、こんなものなのかなあと感じている、お出かけした時や知り合いの子と接したときに、**あれっ？**とふと疑問に感じることもあるかもしれません。

気になって、ネットで“**赤ちゃん 目が悪い**”なんて検索してみたり。

「小児科や眼科に相談に行ってみようかな。」

「いやいや、そのうち気にならなくなるでしょ！」

「乳幼児健診があるから、その時に相談してみようかな。」



さてその次には、日々の生活、これからのこと・・・

「どんなことに気を付けたらいいの？」

「何かいいやり方があるの？」

盲学校って「見えにくい
かもしれない」ってこと
も相談できるんだ。



各都道府県の見えにくさや視覚障害のある子どもへの教育を行う特別支援学校では、乳幼児相談として、0歳から小学校入学前までのお子さんの相談をお受けしています。私たち神奈川県立平塚盲学校も同じ取り組みをしています。

本校の乳幼児教育相談<アイキッズルーム>では、相談担当2名がお子さんの目の見え方に心配のある保護者さんの相談に応じています。部屋はお子さんの好みや発達に合わせて、オーダーメイドで設定しています。右の写真は一例ですが、0歳から年長さんまでのお子さんが通っています。また、保育所や幼稚園に在籍されているお子さんもあり、必要に応じて在籍する園等を担当者が訪問させていただき、お子さんに合わせた過ごし方を園の先生方に提案させていただくこともあります。



神奈川県立平塚盲学校 乳幼児教育相談

アイキッズルーム

月～金 10:00～12:00、14:00～16:00

0463-31-1341

“乳幼児相談の申し込み”と電話でお伝えください。

担当（下原・小川）が対応いたします。